

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2024年 10～12月期の景況 / 2025年 1～3月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は持ち直しの動きが見られる。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2024年10～12月期の実績と2025年1～3月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より5.7%の回復となった。業種別では、建設業は▲28.6%から▲3.8%へ、製造業は▲37.5%から▲23.5%へ、サービス業は▲15.4%から▲12.5%へ回復した。卸売業は▲5.6%から▲10.5%へ、小売業は▲12.5%から▲26.7%へと悪化した。

今期中に新規設備投資を実施した企業は42.6%、来期設備投資を実施予定の企業は32.7%であり、今期よりも9.9%減少する見込みである。

経営上の問題点については、依然として全業種で「従業員の確保難」が上位に挙げられている。さらに多くの業種で「人件費の増加」や「人件費以外の費用の増加」など費用に関する問題が上位を占めている。

DI(デフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に係る複数の指数を合成して算出する。

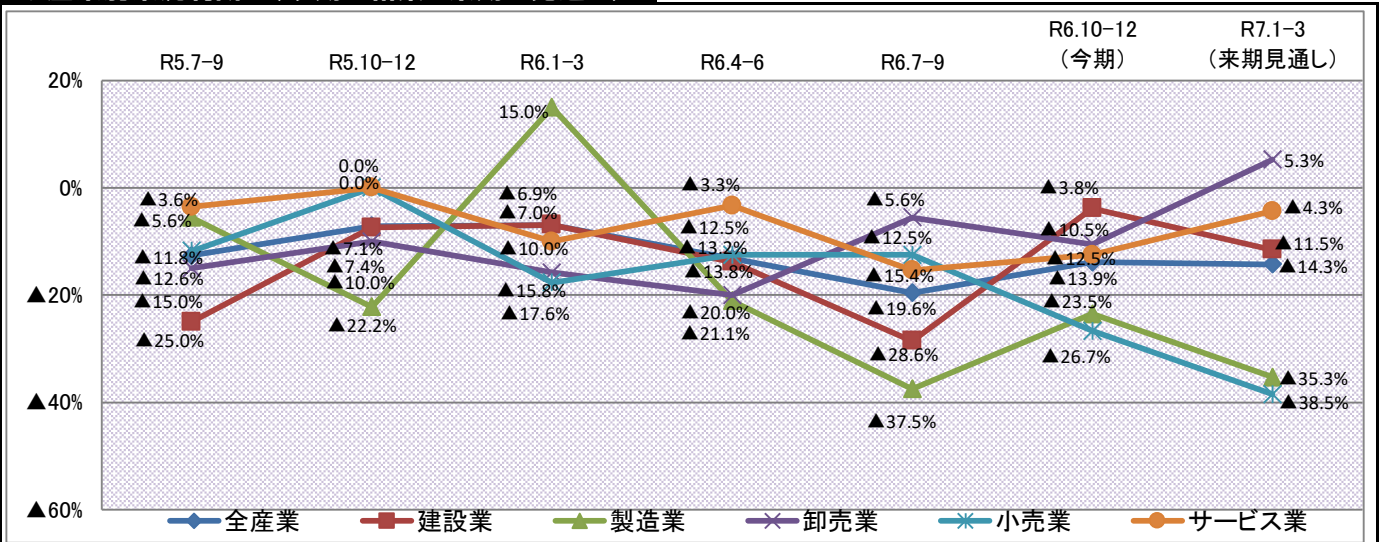
DATA

- 調査期間: 令和6年12月17日～12月20日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業127社
- 有効回答企業数: 104社(81.9%)

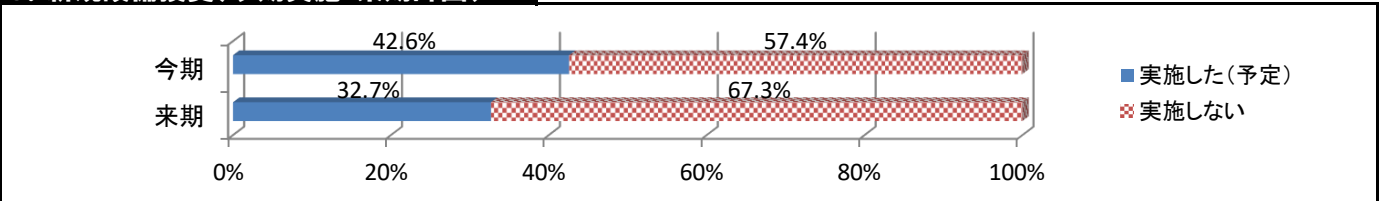
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲13.9%	5.7%	▲6.9%	▲11.9%	2.0%	6.1%	▲11.9%	▲5.9%	▲5.1%	2.2%
建設業	▲3.8%	24.7%	▲7.7%	1.4%	7.7%	21.3%	7.7%	16.8%	▲15.4%	▲10.8%
製造業	▲23.5%	14.0%	▲11.1%	▲17.0%	▲6.3%	▲6.3%	▲23.5%	▲5.9%	▲5.6%	▲5.6%
卸売業	▲10.5%	▲5.0%	▲5.3%	▲16.4%	5.3%	▲11.4%	▲15.8%	▲26.9%	5.3%	16.4%
小売業	▲26.7%	▲14.2%	▲6.7%	▲19.2%	▲7.1%	7.1%	▲26.7%	▲26.7%	▲7.7%	13.7%
サービス業	▲12.5%	2.9%	▲4.2%	▲11.6%	4.2%	11.6%	▲12.5%	▲1.4%	0.0%	3.8%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	従業員の確保難	21.4%	人件費の増加	16.0%	従業員の確保難	18.2%	仕入単価の上昇	18.9%	従業員の確保難	16.9%
2位	下請業者の確保難	12.9%	需要の停滞	14.0%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	15.9%	従業員の確保難	18.9%	利用者ニーズの変化への対応	11.9%
3位	民間需要の停滞	12.9%	原材料価格の上昇	12.0%	仕入単価の上昇	15.9%	消費者ニーズの変化への対応	13.5%	人件費以外の費用の増加	11.9%
4位	材料価格の上昇	11.4%	従業員の確保難	12.0%	人件費以外の費用の増加	11.4%	大型店・中型店の進出による競争の激化	8.1%	材料等仕入単価の上昇	11.9%